

背景

- コロナ禍を受けて低迷した航空需要は、**現在もコロナ前の水準まで回復するには至っていないものの、回復基調にある**
- IATA（国際航空運送協会）は、**令和7（2025）年までには国際線の航空需要がコロナ前の水準まで回復すると予想**
- 高知龍馬空港においても、**航空需要の回復を見据え、持続的な航空ネットワークの発展のために、関係者が連携して取組みを継続していく必要がある**

目標(案)

高知龍馬空港の航空ネットワークの発展のために、引き続き関係者が重点的に取り組むアクションプランを検討

路線	H30年度 153万人	R3年度 71万人	R7年度 180万人	目標達成に向けた取組方針(案)
羽田	105万人 (74%)	41万人 (49%)	105万人 (74%)	コロナ前の搭乗率(74%)まで回復させる
伊丹	27万人 (77%)	12万人 (52%)	27万人 (77%)	コロナ前の搭乗率(77%)まで回復させる
福岡	7万人 (67%)	3万人 (45%)	8万人 (75%)	搭乗率75%の達成を目指す
小牧	9万人 (70%)	6万人 (40%)	12万人 (70%)	3便運航を定着させる
神戸	-	2万人 (33%)	4万人 (70%)	路線を定着させる
成田・関西	5万人	16万人	22万人	搭乗率の底上げによる成田線の定着と関西線の就航を目指す
国際線 (チャーター便)	0.2万人 (14便)	0万人 (0便)	1.6万人 (100便)	エアポートセールスを強化し、定期チャーター便化を目指す

目標値
 R7年度 年間空港利用者
180万人以上
 (R元年度実績
 155.9万人の115.5%)

計画期間
 R5(2023)年度
 ~R7(2025)年度
(3年間)

重点課題(案)

A 需要の喚起

- **関係機関が連携した需要喚起**
 - ・ 既存路線の利用促進
 - ・ 新規路線(成田・神戸)の認知度向上
 - ・ LCC路線の拡大
- **国際チャーター便の誘致**
 - ・ 海外の航空会社・旅行会社へのセールス継続

B 受入体制の改善

- **国際線受入体制の連携強化**
 - ・ 国際線受入連絡会において、現在のターミナルビルでの受入れ体制について協議を継続
- **グランドハンドリングの体制強化**
 - ・ グランドハンドリング事業者において、人材確保・定着促進に取り組むとともに、関係機関連携による人材確保の取組を検討
 - ・ 需要増加に応じた体制の確保

C 空港施設の機能強化

- **新ターミナルビルの整備再開の検討**
 - ・ 令和2年2月に策定した「高知龍馬空港施設基本構想」について、アフターコロナを見据え、旅客需要や変動リスクなども考慮したうえで、ターミナルビルの機能や規模、整備の時期などについて改めて検討を実施

第2期AP策定方針

- 令和元～3年度の3カ年における第1期アクションプランの取組によって、各分野でそれぞれ成果が得られた一方、目標の一部が未達成となっている等の課題も存在する。このため、**第1期アクションプランで残された課題を中心に、重点課題を設定し、取組をさらに深化・発展させる。**
- 一方、この3年間でコロナ禍における航空需要の消失リスクの顕在化、水際対策の実施や保安検査の強化による空港に求められる機能拡大、資材高騰といった新たな状況変化も生じており、**新ターミナル整備については、施設計画の見直しを図ることとする。**

目標（案）

- R7年度に **180** 万人以上
※IATAによる国内旅客需要予測に基づき設定

重点課題（案）

A 需要の喚起

- **関係機関が連携した需要喚起**
 - ・ 既存路線の利用促進
 - ・ 新規路線(成田・神戸)の認知度向上
 - ・ LCC路線の拡大
- **国際チャーター便の誘致**
 - ・ 海外の航空会社・旅行会社へのセールス継続

B 受入体制の改善

- **国際線受入体制の連携強化**
 - ・ 国際線受入連絡会において、現在のターミナルビルでの受入れ体制について協議を継続
- **グランドハンドリングの体制強化**
 - ・ グランドハンドリング事業者において、人材確保・定着促進に取り組むとともに、関係機関が連携した人材確保の取組を検討
 - ・ 需要増加に応じた体制の確保

C 空港施設の機能強化

- **新ターミナルビルの整備再開の検討**

進捗管理 (PDCA)

- 第1期アクションプランでは、目標達成に向け、課題毎に具体的な取組内容を設定し、進捗管理を実施
- 新型コロナウイルス感染症拡大等の環境変化により、アクションプランが計画どおり進められず、計画未達の項目が多数発生

第2期アクションプランの実施体制

- 環境の変化に対応し、柔軟に対応できるよう、年度毎に**重点課題に即した取組を決定**する
 - **航空利用促進協議会や国際線受入連絡会等において具体的な取組を検討し、進捗管理を行う**
 - 取組内容と成果、評価・検証の結果について、NW会議または連絡会（年1回(9月頃)を想定）に報告する
- ※ 計画期間中に、目標及び重点課題の見直しが必要となる大きな環境の変化が生じた場合は、NW会議で見直しについて報告・協議する

区分	第1期アクションプラン（R1～R3年度）	第2期アクションプラン（R5～R7年度）
P計画	● 高知龍馬空港の航空ネットワークの持続的な発展に向けたアクションプランを策定	● 高知龍馬空港の航空ネットワークの持続的な発展に向けた目標と重点課題を設定
D実行	● アクションプランに基づき、関係機関が施策を実施	● 航空利用促進協議会、国際線受入連絡会等を通じて、関係機関が目標達成に向けた取組を検討・実施
C評価・検証	● 連絡会（事務局：高知県交通運輸政策課）を開催し、アクションプランの評価・検証を実施（9月、2月の 年2回 を想定）	● 連絡会（事務局：高知県交通運輸政策課）を開催し、取組内容などを報告（9月の 年1回 を想定）
A改善	● 評価・検証の結果を踏まえて、アクションプランを改善し、必要に応じて予算化	● 評価・検証の結果を踏まえて、必要に応じて予算化
P計画	● 関係機関ですり合わせを行ってアクションプランを更新	● （大きな環境の変化が生じた場合）目標及び重点課題を見直し

<R4～R5年度のスケジュール（想定）>

	R4. 12月	R5. 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6. 1月	2月	3月	
NW会議	NW会議	部会	NW会議			部会	NW会議			連絡会							
			ターミナル整備について議論							AP報告							
利用促進協議会			幹事会	総会			幹事会	総会							幹事会	総会	
			AP検討		AP検証		AP実施										AP検討
国際線受入連絡会・WG	連絡会	現ターミナルでの受入れ体制について検討（随時）															

		R4	R5	R6	R7
目標値	国内線	156万人	160万人	170万人	180万人以上
	国際線	100便			
<参考> IATAによる国内旅客需要予測(2019(R元)年比) ※ () の値はR元年度の高知龍馬空港利用実績156万人から推計した需要予測		93% (145万人)	103% (161万人)	111% (173万人)	118% (184万人)
実施機関		行動計画			

A 需要の喚起

戦略1：関係機関が連携した需要喚起

● 既存路線の利用促進	航空会社 県（交通運輸政策課） 航空利用促進協議会	航空利用促進協議会において具体的な取組を検討 (毎年度2月に翌年度の取組を計画)			
● 新規路線(成田・神戸)の認知度向上	航空会社 県（交通運輸政策課） 航空利用促進協議会	航空利用促進協議会において具体的な取組を検討 (毎年度2月に翌年度の取組を計画)			
● LCC路線の拡大	航空会社 県（交通運輸政策課） 航空利用促進協議会	航空利用促進協議会において具体的な取組を検討 (毎年度2月に翌年度の取組を計画)			

戦略2：国際チャーター便の誘致

● 海外の航空会社・旅行会社へのセールス継続	県（国際観光課・KVCA）	セールス活動の展開			
------------------------	---------------	-----------	--	--	--

B 受入体制の改善

● 国際線受入体制の体制強化	高知空港事務所、空港ビル、 航空会社、GH会社、CIQ、 県（交通運輸政策課）等	国際線受入連絡会等において具体的な取組を検討 (随時)			
● グランドハンドリングの体制強化	県（交通運輸政策課）等	国際線受入連絡会等において具体的な取組を検討 (随時)			

C 空港施設の機能強化

● 新ターミナルビルの整備再開の検討	NW会議構成員	NW会議において整備計画を検討			
--------------------	---------	-----------------	--	--	--

第2期アクションプラン策定に向けたスケジュール

第7回NW会議
(12月20日)



第2期アクションプラン（案）について提示
※目標値、重点課題、実施体制等

- 関係機関へ意見照会
- 意見を集約し、第2期アクションプラン（案）見直し

第8回NW会議
(2月下旬)



第2期アクションプラン（見直し案）について提示

- 最終調整

R5年度～

第2期アクションプラン策定・実行